



六月の幼稚園

六月の保育

幼稚園……堀合文子
 保育所……

今月は、鈴木先生が非常に多忙で、且つお体の都合により、寝念なから、今月号の先生の欄は休ませていただきます。(編集班)

堀合文子

| | |
|------------|--|
| <p>年少組</p> | <p>主題</p> <p>○時計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計について話合う ・時計の話を聞く ・時計を二種類位製作でつくる ・時の記念日を前にして年少組だからあまりくわしい事は必要ないが仕事でたのしく時計をつくつたりして時計の必要性や時の大事な事も少し知る程度でよい。 ・前月の誘導保育も六月にかかってくるからそれと共に軽く主題を扱いたい。 |
| <p>年長組</p> | <p>○時計やさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前月からの誘導保育もあるのでそれに併せてゆく程度の時計やさんをつくる ・時計についての話合い ・時計屋やさんを見学に行く ・近くの時計やさんにどんな時計があるか見学に行く ・時計の種類をあげる ・時計にちなむお話を聞く ・時計をつくる |

| | |
|--|--|
| <p>お 話</p> <p>○こぢりんじいさん ○猿と玉ねぎ ○雨もり ○赤いめんどり ○人形芝居 ○紙芝居</p> | <p>○雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅雨についての話し合い ・梅雨の間の約束をする ・雨のお絵かきをしている(自由) ・雨にちなむお話を聞く ・雨のリズム遊びをする <p>○ままごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活に自然と投込まれてくる遊びだが、梅雨時室内遊びの多い時こちらよりの計画としてままごと遊びの指導をする ・ままごとを一緒にしてあげる(又は入れてもらう) ・ままごと道具又は御馳走を製作で作る ・ままごとと他の遊びへ発展、関連させて遊ぶ。 <p>例えば男の人達が電車ごっこしていればそれを利用するかお菓子やさんや、八百やさんが小さく出来てくるとか、そこに部屋全体が小さな一つの社会が出来てくるので、そこまで誘導してゆきたい。</p> |
| <p>○熊と子供達 ○海ひこ山ひこ ○ぶたの旅 ○かさやの長吉 ○人形芝居 ・先生もしてみせてあげるもの</p> | <p>○雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計の売買をして遊ぶ ・梅雨についての話し合い ・梅雨についてその間の約束をする ・雨のお絵かきをする(自由) ・雨にちなむお話を聞く ・雨のリズム遊びをする <p>○お部屋のあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長なので梅雨の間部屋での遊びをひろく取上げてみる ・年少のようにままごとより発展したものでもよい ・お店やさんから動物園から発展したものでもよい ・集団あそび ・音楽会 <p>これらの遊びもなるべく子供達のあそびから取材し又子供達から遊び出すよう誘導しなければいけない</p> <p>室内遊びはとかく雑然と騒然となり易いからよくそこに指導しなければならぬ</p> |

觀察

○幻燈

人形芝居等は別に題はかいておかなかつたからその圖毎に適當なのをえらんでしてほしい。一つものをくりかえしてやつても子供達はよろこびます

○てんとう虫

子供達と一番密接なかわいいてんとう虫を子供達と一緒に遊びながらお庭の草木の所をさがすとつたものはどんな色か黒の点か赤の点か又いくつあるか等話合つて瓶にかつて部屋において觀察する
製作でてんとう虫の車等作つてもおもしろい

○時計

時の記念日を中心に年少だから話合ひして、自分達も腕時計置時計一つづゝ作る程度でよい

○金魚

春からずつと飼つて皆でかわいがつている金魚を、泳ぐ所、ごちそうを食べる所等話合ひながら觀察する、リズム遊びで金魚になつたり金魚のうたをならう、手技で金魚をつくる

○衣がえ

六月になり皆の洋服が夏服になる事も春でなく夏の事を簡単に話す

○雨

梅雨の季節に入り雨がよくふる事、ものがくさりやすい事病

・自分達がやつてみせてあげるもの

○紙芝居

・先生がやつてあげるもの

・自分達が協同で又は個人でつくつたものとする

○幻燈

○衣がえ

年少と同じ

○時計

時の記念日を中心に時計やさんをみにいつたり話合つたり時計をつくつてお店やさんごっこしたりして遊ぶ、昔の時計はこんながある程度簡単に話しておく

○あぢさい・がく

紫色のくす玉のような花。小さい花が集つて一つの大きい花になつている事。色が次第にかわつてゆく事。あぢさいと、がくとは少し形がちがう点をよく觀察させる
部屋にさして觀察するとよい

○梅雨

梅雨に入り毎日の天気状態変化を記録し話合ふ
他は年少と同じ

○かび

梅雨の時、ものが腐り易い事は話合ひ、かびも実際のがみせられたらそれをみながら觀察する

○虹

音楽
リズム

気も多い事等話合う程度でよい

○お百姓さん

梅雨期に田植をするお百姓さん何をする人か、私達のお米をつくる等話合い、実際にみられる所はお百姓さんの田植の様子をみられると尙よい

○かたつむり

雨になるとよく出てくるかたつむりお庭でさがして来たものは瓶に入れてかためみる

大きいもの小さいもの匂い方角を出したり引つこめたりする様子等観察する

うたでかたつむりを歌つたり、リズム遊びしたりする

○時計屋の時計

○時計のリズムあそび

すきな時計になつてカチ／＼と動く

針になる入は中心にたつて少しづつ動く、リズムはとりにくいがるべくピアノにあわせてすきな表現するようにする

○かえる

○かたつむり

○雨のリズム遊び

雨になる人雨の日に出てくるかたつむりかえるになり又は傘をさしてあるく、水たまりはビヨンととぶ等の自由表現をさせて遊ぶ(ピアノによくあわせておこなう)

○てんとう虫

○金魚

○かえる

雨のあがつた後虹がよくみられるその美しさを皆でみたい
雨がすきで出てくるかえる種類がいろいろある事、とぶのがすき等話合う
リズム遊びしてかえるになつて遊ぶ

○時計屋さんごっこ

皆すきな時計にならせてお店へ並べる。お店の主人、お客様になる人を変える／＼きめ、お客様がくださいとかいけると時計が曲に併せて動きはじめ、一番よいのをかためてゆく。こわれて動かないのがあつたら主人は修繕してあげる

○雨のリズム遊び

お花がさいている畠にはじめお花がすきな様に曲にあわせておどる、あまりお日様が照つたのでお花がしおれてしまう(曲はしおれるように弾く)そこへかえるががつこ／＼なく雨がふつて来る雨の子供になつた子供達が曲にあわせて雨になるやつと花がいき／＼してよろこんでおどる。かえるも、でん／＼虫も出て来てよろこぶ

○お百姓さん

製繪
作畫

金魚にやらせて自由に表現させる
今度は皆でお池をつくり、その中へ二三匹の金魚をかかわるが
わる泳よがせる

○ままごと

年少も年長も自由表現を多く用いるリズム遊びはやはり曲がしつかりしていかない子供達は動作がしにくい。それでその所の表現に適当な曲を他の曲より抜曲したりしてもよいし、簡単によいからその所の感じを出す曲を創作してやつた方がおもしろいと思う。

○時計つくり

置時計

腕時計

○ままごとの道具作り

画用紙でお皿、コップ等つくる

野菜、お魚、お菓子等も皆と工夫して、中味に紙層かパツキ
ングを入れたりして立体的なものをつくりたい

○金魚つくり

・印刷した金魚をぬつて切るのと

・紙を与えて自分達が好きにつくる金魚とをつくる

・金魚鉢をつくり入れたり、来月の金魚やさんのためにたく

わえておいてもよい

○お魚かき

自由

雨の日の事

○えのぐお魚かき

お百姓さんになつて種まいたり
種になる子供は次第に生長して花がさく表現を曲にあわせて
する

○時計つくり

画用紙でつくつたり

空箱を利用してつくつたり

花時計とか動物時計とか種とその形をした時計をつくり又皆
と工夫してたのしい時計にした

○金魚の家

金魚鉢のようにしてもよいし水族館の金魚のように空箱を利
用してその中に入れてもよい

金魚は自分で好きに画いたものがよい

来月の水族館のために少しつくつておく。

○お魚かき

自由

雨の日

○えのぐお魚かき

○切紙(自由)

○木工細工

(20頁より続く)

〔註〕 向性検査、向性指数の選出方法
V.Q (向性指数)

$$= \frac{\text{外向点} + \frac{1}{2} \text{無応答}}{25} \times 100$$

イ) 健康状態

健康の面からしても、やはり身体的には丈夫な幼児であり、体軀を見ると様々であるが、元氣活潑な明朗さのある幼児であり、凡てリーダーになつた幼児は健康的に恵まれた者であつた。弱身者にては、やはり、リーダー格としては認められないのである。

ロ) 情意的な面

此の面で見ても、やはり、リーダーになる幼児は、他の者を抱擁する雅量と落着きのある者なるのである。

以上四面を觀察して解る様に、實施的な面を以つて、明らかにされたのであるが、此の四面を総合して私は特にリーダーとして必然的に備わらなくてはならぬ要素と名付けるのである。

以上の如く、リーダーとしての各観点を実体調査したのであるが此の調査は飽く迄も只その表面的記録を眺めるに止まらずして、我々は今後に残された幼児の教育的面を探究し、真理に導いて行く様努力したきものである。これを以つて幼稚園児のグループリーダー形成に就ての研究発表を終ることとする。(筆者京都市西山幼稚園長)

| 習 慣 の 健 康 | 習 慣 の 健 康 | |
|--|---|---|
| <p>〇 協同でつかう玩具等はゆずり合つて仲よくつかう</p> <p>〇 先生、友達になにかしてもらつた時はありがとうとおれいをいひおしやう</p> | <p>〇 濡れたものは何時までもつけてないでかわかしてもらう</p> <p>〇 外に出る時は帽子をかぶつてゆく</p> <p>〇 物を頂く時わ、特別手はきれいによくあらう</p> <p>〇 水道の蛇口より少し口をはなして水をのむようにする</p> | <p>〇 指画</p> <p>〇 切紙(自由)</p> |
| <p>年少と同じ</p> | <p>年少と同じ</p> | <p>小さい金槌とのこぎり、釘を用意し板は葎の空箱をこわしてそれを用い。好きなものを適当につくらせる</p> <p>協同な用い方、床にじかにしないでごさをひいてするとか、その他園による約束をする</p> |